

## インタビュー

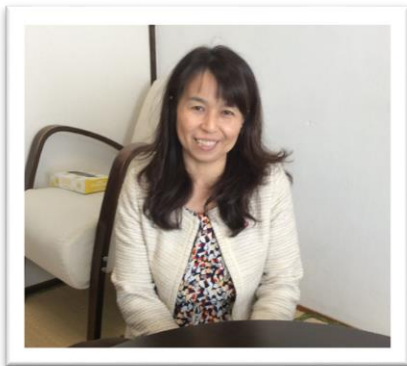
福岡の持続的発展につながる活動をしている方々にインタビューしてきました。

**美野島司牧センター** 昨年 11 月 11 日、コース・マルセル神父にインタビューしました。カトリックの神父様に初めてお目にかかりましたが、スゴイ！の一言です。神父は、1973 年にパリ外国宣教会より派遣され来日。1994 年に社会的弱者を支援するためにこのセンタ



ーの主任となりました。ホームレス、薬物依存症者など様々な方を支えておられますが、移住労働者の方々の支援について伺いました。訪問した日の朝も神父は、入国管理局に出向かれています。一番多いのは不法滞在者の強制送還に関するもので、何年も日本にいる人は、自国に返されても身寄りも知り合いもないとのこと。その国の関係者を紹介したり、また大村収容所に面会に行ったりして今後の相談をしたりされています。

**ストリート・プロジェクト (ストプロ)** 1 月 30 日 ストリー



ト・プロジェクトの活動&ボランティア説明会に行ってきました。困窮で日に一度の食事しか摂れない高校生、両親の離婚がきっかけで学びの機会を失った中卒者。低学歴ゆえ低賃金の人生へ導かれる 10 代の若者、将来に不安を感じながら生きている彼らの貧

困と孤立を防ぎ、自立と夢の実現のために活動されています。

高等学校卒業程度認定試験(旧大検)受験のための無料塾を開催し、県立高校通信制高校の卒業までのサポートを行っています。さらにはまずは食べることのできる仕事に就けるような伴走活動も行っています。一方、帰る家がない子や家に帰りづらい子の悩みに耳を傾け、食事を提供し、時には泊まることもできる場所の提供も行っています。

子どもの貧困が新聞などで取り上げられ、注目されている中で、小中学生やもっと小さな子どもを想像しがちですが、高校生やそれより大きな若者も助けを必要としている人が少なくないという現実を知らされました。

ストプロの活動を支援したいという方は、不要になった古本やCDをお送りください。詳しくはホームページをご参照ください。

**ママワーク研究所** 2 月 15 日、ママ☆ドラフト会議®(写真)で注目されているママワーク研究所、田中理事長にインタビュー。女性の就業のM字カーブの窪んだ部分をできる限り少なくすることが、少子高齢化にあえぐ日本経済に不可欠と考え、出産・育児で仕事を離れる女性の社会復帰をサポートしています。子育てママさんたちならではの希望(月1, 2回勤務、病時欠勤、子連れ出勤、子連れ面接など)を受け入れてくれよう企業に働きかけ、受け入れてくれる企業の求人情報を、意欲あるママたちに紹介しています。

働くことで、社会と繋がっている、役に立っていると実感することができれば、子育てもより生き生きとできるのではないかと思います。



## “より良い暮らし指標”

OECD の Better Life Index (より良い暮らし指標) の 11 の指標の詳細は次のとおりです。

1. 住居：一人当たりの部屋の数、住居費、基本的衛生設備（例：水洗トイレ）の整備率
2. 収入：家計可処分所得、家計金融資産
3. 雇用：就業率、長期（一年以上）失業率、平均年収、雇用保障
4. 共同体：困った時に頼れる親戚・友人がいると回答した人の割合
5. 教育：高校修了者の割合、教育を受ける平均的年数、義務教育修了時点の読解力、数学的及び科学的リテラシー
6. 環境：大気汚染、水質
7. ガバナンス：投票率、立法過程における協議プロセスの整備状況
8. 健康：平均寿命、自分の健康状態が良い・大変良いと回答した人の割合
9. 生活の満足度：生活の満足度の自己評価
10. 安全：人口あたりの殺人件数、過去 12 ヶ月に犯罪に巻き込まれた人の割合
11. ワークライフバランス：長時間（週 50 時間以上）勤務者の割合、余暇や個人的活動（睡眠、食事）にあてた時間。

ちなみに、日本は、他の国と比較すると、「安全」、「収入」、「教育」で上位に、「ワークライフバランス」、「健康」で下位に位置しています。長寿国日本ですが、「自分の健康状態が良い」と思っている人は調査国中最下位。ちょっと意外でした。

編集後記：咲いてよいのかまだなのか、桜の花が戸惑っている今日この頃。世界中のみんなが心から綺麗だなと思える世界が来ることを願って第三号発行！（内田）

### 【発行者】

特定非営利活動法人イマジン  
福岡市早良区祖原 14-20  
Tel 092-841-3010  
Email info@imagine.or.jp



サステナブルシティ福岡キャンペーン

<http://sustainablecityfukuoka.jp>

# For You and For Me

第 3 号 2016 年 3 月

## ご挨拶

おかげさまで第 3 号を発行しました。福岡で活動する素晴らしい方々にインタビューさせていただき、福岡の素晴らしさを実感することができました。しかし、同時に、いくつかの課題も見えてきました。一つは、取り組みが少ない分野がある、もう一つは、活動している団体相互の協力・連携が必ずしも行われていない分野がある、ということです。こうした課題の解決に向けて、引き続きキャンペーン活動を強化していきたいと思う次第です。

特定非営利活動法人イマジン 理事長 渡辺久也

## 特集：「より良い」暮らしってなん？

“より良い”暮らしってどんな暮らしですか？  
お金がたくさんある？でもそれだけ？

経済協力開発機構（OECD）は、Better Life Index（より良い暮らし指標、BLI）を作成し、加盟国等 36 か国を調査・比較しています。指標は 11 の分野（住宅、収入、雇用、共同体、教育、環境、ガバナンス、医療、生活の満足度、安全、仕事と家庭の両立）から構成されています。詳しくは裏表紙に！



イベント情報： 2016/4/21、「生ごみ堆肥を使った菜園講座」が福岡市東区蒲田で開催されます。時間は 10:00~11:40。予約が必要です。詳しくは循生研（Tel. 092-405-5217）へ。